

～6月の米雇用統計について～

結果概要

米国労働省が7月3日に発表した6月の米雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比+14.7万人と市場予想(同+10.6万人)を大幅に上回る結果となりました。

業種別では卸売業が同▲0.7万人(前月:同+0.4万人)と減少に転じた一方、建設業が同+1.5万人(前月:同+0.6万人)と増加幅が拡大したほか、小売業が同+0.2万人(前月:同▲0.7万人)と増加に転じるなど、労働需要の底堅さを示す結果となりました。

失業率は4.1%と市場予想(4.3%)を下回り、前月(4.2%)から低下しました。

平均時給は前年同月比+3.7%と市場予想(同+3.8%)を下回りました。前月比も+0.2%と市場予想(同+0.3%)を下回りました。

労働参加率は62.3%と市場予想(62.4%)を下回り、前月(62.4%)から低下しました。

市場反応(7月3日の米国市場)

米国株式市場は揃って上昇しました。前日2日に発表されたADP全米雇用リポートの結果が米労働市場の減速を示唆したことを受けて、雇用に対する警戒感が強まっていたものの、非農業部門雇用者数が市場予想を上回るとともに、失業率が前月から低下したことで米景気後退懸念が後退し、NYダウ平均株価は前日比+0.77%、S&P500指数は同+0.83%、ナスダック総合指数は同+1.02%となりました。

米国債券市場は、米FRBが早期利下げに慎重な姿勢を維持するとの見方から売りが優勢となり、10年債利回りは前日比+0.07%の4.35%程度で終わりました。

米ドル/円は、堅調な米雇用統計の結果を受けて、インフレ圧力の継続が意識されたことから、早期の利下げ観測が後退したほか、米長期金利の上昇を受けてドル買い・円売りが優勢となり、前日比1円27銭円安ドル高の144円93銭程度となりました。

米10年国債利回りの推移



NYダウの推移



(期間)2024/1/1～2025/7/3 (出所)Bloomberg

評価・今後の見通し

6月の米雇用統計は、平均時給が前月比・前年同月比ともに市場予想を下回ったものの、非農業部門雇用者数は市場予想を超えて、前月並みの増加幅を維持したほか、失業率は前月から低下し、労働市場が依然として底堅さを保っていることが示されました。

今回の米雇用統計の結果を受けて、米関税政策を巡る不透明感や一部で懸念されていた景気減速の兆候が、現時点では労働市場に顕著な影響を及ぼしていないことが確認され、早期の利下げ観測が後退しました。市場の織り込む利下げ回数は12月までに2回程度となっており、また現地時間7月29-30日に開催されるFOMCでは、インフレ圧力や賃金上昇の持続を背景に政策金利の据え置きがほぼ確実視されているなど、FRBが利下げに慎重な姿勢を維持するとの見方が優勢となっています。

今後の株式市場は、短期的には7月15日発表の米消費者物価指数、16日発表の米生産者物価指数、17日発表の小売売上高など、インフレや消費の動向を測る主要指標に注目が集まると考えます。また、トランプ米大統領による関税政策が企業活動や物価に与える影響、不法移民の一斉強制送還が労働市場に与える影響にも、引き続き注視が必要です。今回の雇用統計の結果は労働市場がなお健全な状態を維持していることを示唆する内容でしたが、引き続きトランプ米政権の動向や経済指標に注目が集まるボラティリティの高い相場が継続するとみています。

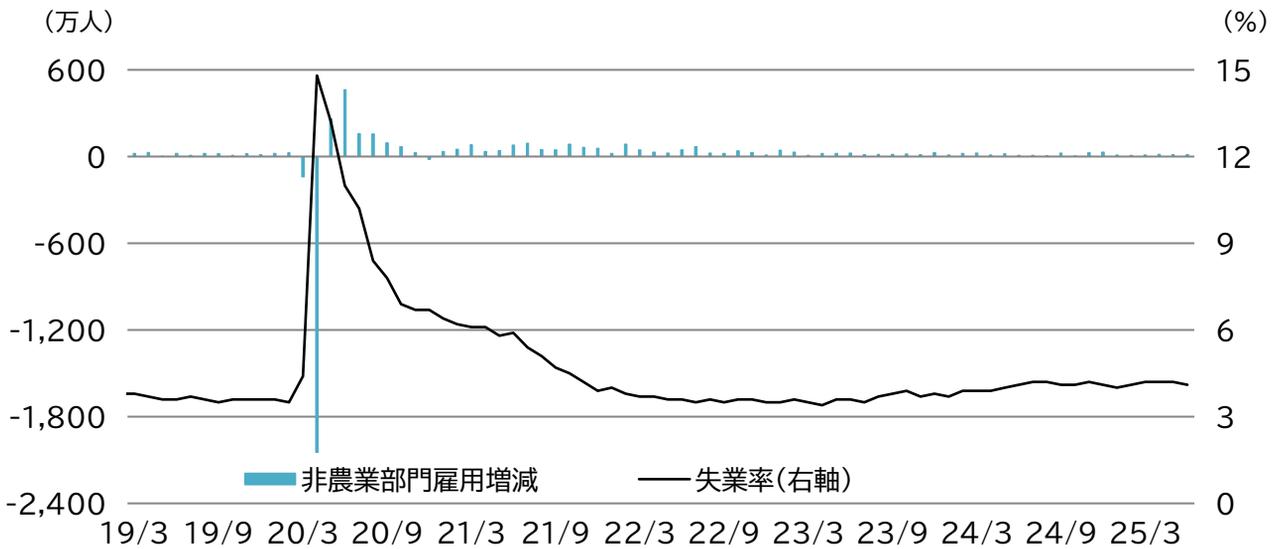
Daily Report(号外)

(ご参考) 主要業種別雇用者数増減(前月比・万人)

出所:米国労働省

| | 25/1 | 25/2 | 25/3 | 25/4 | 25/5 | 25/6 |
|--------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 非農業部門 | +11.1 | +10.2 | +12.0 | +15.8 | +14.4 | +14.7 |
| 鉱工業部門 | -1.1 | +2.4 | +0.5 | +0.2 | -0.4 | +0.6 |
| 建設業 | -0.3 | +1.2 | +0.5 | +0.0 | +0.6 | +1.5 |
| 製造業 | -0.5 | +0.8 | +0.1 | +0.0 | -0.7 | -0.7 |
| 資源・鉱業 | -0.3 | +0.4 | -0.1 | +0.2 | -0.3 | -0.2 |
| サービス部門 | +9.0 | +8.3 | +10.9 | +13.1 | +14.1 | +6.8 |
| 卸売業 | -0.4 | +0.7 | -0.5 | +0.1 | +0.4 | -0.7 |
| 小売業 | +3.6 | -0.4 | +1.6 | +0.5 | -0.7 | +0.2 |
| 輸送・倉庫業 | +2.1 | +1.8 | -2.1 | -0.8 | +0.5 | +0.8 |
| 情報 | -0.4 | +0.0 | -0.2 | +0.1 | +0.5 | +0.3 |
| 金融 | +1.4 | +1.5 | +0.3 | +0.5 | +1.0 | +0.3 |
| 専門・ビジネスマネジメントサービス業 | -3.5 | +1.5 | -1.1 | +2.7 | +0.0 | -0.7 |
| 人材派遣業 | -0.8 | -0.2 | -1.4 | +1.7 | -0.6 | -0.3 |
| 教育・ヘルスケア業 | +6.2 | +6.5 | +6.5 | +8.5 | +8.3 | +5.1 |
| 娯楽・宿泊業 | -1.4 | -3.4 | +4.5 | +1.8 | +2.9 | +2.0 |
| その他 | 2.2 | 0.3 | 3.2 | -2.0 | 1.9 | -0.3 |
| 政府部門 | +3.2 | -0.5 | +0.6 | +2.5 | +0.7 | +7.3 |
| 失業率(%) | 4.0 | 4.1 | 4.2 | 4.2 | 4.2 | 4.1 |
| 平均時給(前年同月比、%) | 3.9 | 3.9 | 3.9 | 3.8 | 3.8 | 3.7 |

(ご参考) 非農業部門雇用者数増減と失業率の推移



(期間)2019年3月~2025年6月 (出所)Bloomberg